

## 清水山城について

清水山城は、16世紀末の文禄慶長の役（豊臣秀吉の朝鮮出兵）に際し、本営である肥前・名護屋城（唐津市）と朝鮮半島の釜山を結ぶ輸送・連絡の中継拠点として、秀吉の命により国境の島・対馬に築かれた城です。

海の玄関口である厳原港を見下ろす清水山（標高208m）の尾根に沿って、山頂に一の丸、中腹に二の丸、東の段丘に三の丸が配され、それらが東西約500mの堅石垣（たていしがき）によってつながれています。

朝鮮出兵のために築かれた清水山城は、織豊系城郭（しょくほうけいじょうかく。織田信長・豊臣秀吉の時代の城の型式）や日本の武将が朝鮮半島に築いた倭城に共通する要素も見られ、朝鮮半島からの撤退後はすぐに廃城となつたため、当時の遺構が改変されずに良好に残るなど歴史的価値が高く、国の史跡に指定されています。

朝鮮出兵により島の命綱であった交易は断絶し、島民は塗炭の苦しみをなめることになりましたが、秀吉の没後、新たな天下人となった徳川家康の命を受けた対馬領主・宗義智（そうよしとし）は、日朝の関係修復に命がけで奔走し、外交使節団・朝鮮通信使の招聘に成功。やがて平和な江戸時代が到来します。清水山城は、戦国の世から太平の世に移り変わる、まさに時代の転換点に築かれた城なのです。

一の丸（山頂）からは、厳原港や城下町、また気象条件に恵まれれば壹岐の島影を一望できます。清水山城をぜひその足で訪れ、国境の島・対馬の素晴らしい眺望と重厚な歴史をお楽しみください。

## アクセス



し み ず や ま じ ょう

# 清水山城

～国境の島・対馬の時代の転換点～

一般社団法人 対馬観光物産協会

〒817-0021 長崎県対馬市厳原町今屋敷672-1  
観光情報館ふれあい処つしま

TEL 0920-52-1566 / FAX 0920-52-1585  
<http://www.tsushima-net.org/>

### 【一の丸（本丸）】

東西約70m、南北約40mの曲輪（くるわ。城の内外を石垣などで区画した平坦面）で、岩盤が露出した山頂部を中心に楕円形の石垣が巡らされています。扁平な石を積み上げるなど、他の曲輪とは異なる特徴が見られます。二の丸方向（南東側）には石垣が二重に巡らされ、敵が直進できないよう虎口（こぐち。出入口）が食い違いに配置されています。初春にはゲンカイツツジが咲き、雄大な眺望を楽しめます。



### 【二の丸】

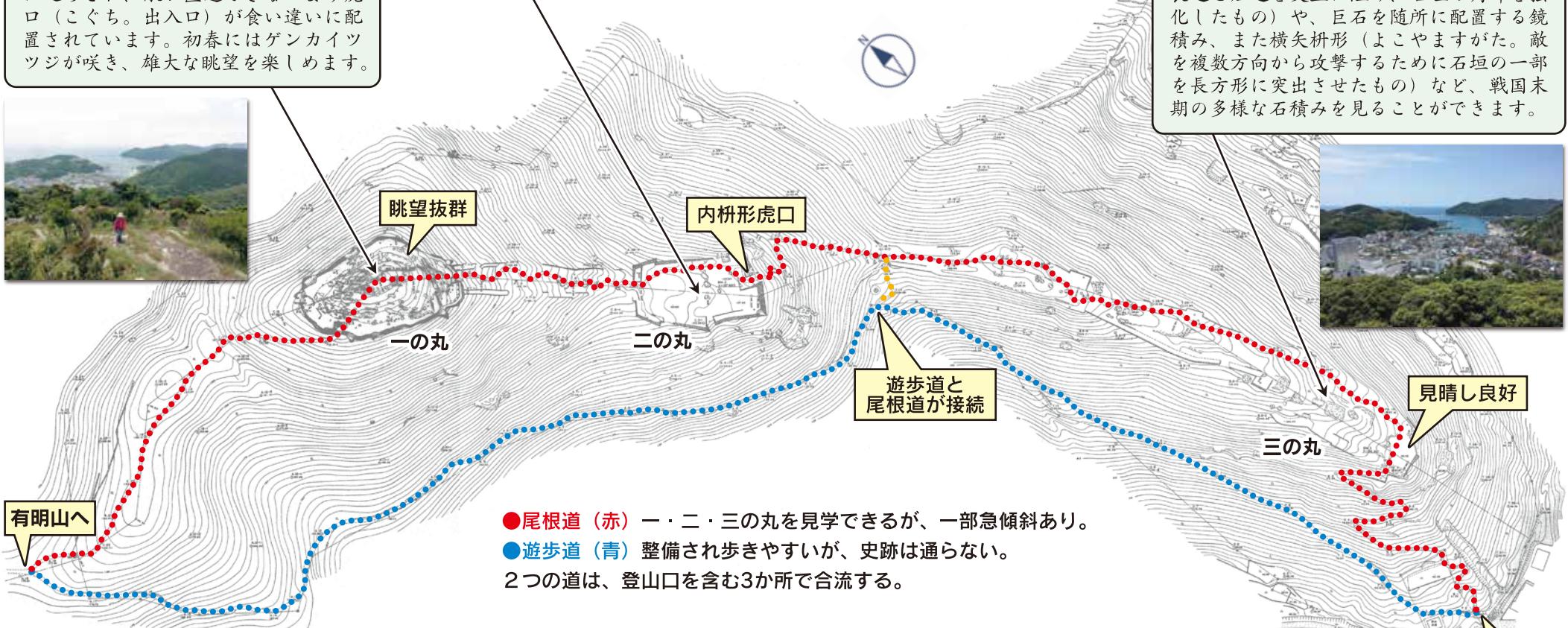
東西約50m、南北約30mの曲輪で、鋭角・鈍角および直線で構成された石垣や内枠形虎口（うちますがたこぐち。複数方向から攻撃できる、防御力の高い構造の出入口）など、織豊系城郭の特徴が見られます。各曲輪で石積みの様式が異なるのも、清水山城の特徴です。



### 【三の丸】

清水山城の東端にある東西約80m、南北約30mの細長い曲輪で、南の虎口近くに説明板やベンチが設置されています。城下町の街なみや厳原港などを眼下に一望でき、食後や昼休みに登る島民もいるなど親しまれています。

算木積み（さんぎづみ。長方体の石材の長辺と短辺を交互に組み、石垣の角部を強化したもの）や、巨石を随所に配置する鏡積み、また横矢枠形（よこやますがた。敵を複数方向から攻撃するために石垣の一部を長方形に突出させたもの）など、戦国末期の多様な石積みを見ることができます。



●尾根道（赤）一・二・三の丸を見学できるが、一部急傾斜あり。

●遊歩道（青）整備され歩きやすいが、史跡は通らない。

2つの道は、登山口を含む3か所で合流する。

所在地	長崎県対馬市厳原町西里（小字名 清水山下）
築城年代	1591年（天正19）
築城者	宗 義智（宗家第19代、初代対馬藩主）を主に、相良長毎、高橋直次、筑紫廣門らが合力。 ※かつては毛利高政築城説があった。
分 類	山城
縄 張	連郭式
標 高	約208m

文化財 国史跡（昭和59年）

その他 日本遺産構成文化財（平成27年）

問 合 せ 観光：一般社団法人 対馬観光物産協会 TEL 0920-52-1566

歴 史：対馬市教育委員会文化財課 TEL 0920-54-2341

平成29年4月、古代山城・金田城（美津島町）が続日本100名城に認定されました。

スタンプ 設置場所 美津島地区公民館（長崎県対馬市美津島町鶴知甲1287-1）TEL 0920-54-4044

観光情報館ふれあい処つしま（長崎県対馬市厳原町今屋敷672-1）TEL 0920-52-1566

0 50 100m

図：対馬市教育委員会提供